

堺市におけるクビアカツヤカミキリ に関する取組の紹介

堺市を含む大阪府下では、クビアカツヤカミキリの生息が拡大しており、より一層の被害防止に向けた取組が必要な状況です。

そこで、堺市では桜の樹木などのバラ科植物を食害する特定外来生物、クビアカツヤカミキリの被害を阻止するため、令和7年度から5か年を重点期間（集中防除3年＋効果検証2年）として防除を進める「堺クビアカ防除大作戦」を実施します。

●堺クビアカ防除大作戦とは

クビアカツヤカミキリの生態的特徴（拡散の速さ、ライフサイクル）を踏まえ、令和7～9年度をフェーズI（集中防除期間）として取組強化、また、令和10～11年度をフェーズII（効果検証期間）として効果検証を行い、必要に応じた防除を行うものです。

堺クビアカ防除大作戦①（市有施設での取組）

- ・堺市が管理するすべてのサクラ等（約19,000本）の点検
及びネット巻き・薬剤散布などの防除の実施
- ・事故防止のため、被害が深刻な枯木の伐採

堺クビアカ防除大作戦②（市民の皆様に向けた取組）

- ・広報誌、SNSなど各種媒体を活用し、周知啓発の実施
 - ・防除講習会を開催し、参加者にスターターキット（ネット、殺虫剤）を配付
 - ・クビアカハンターを募集し、市民の皆様による成虫駆除を促進（成虫が発生する6～8月に活動）
- ※令和7年6月30日現在、352名にハンター登録いただいています。

ペットボトル
約3cm

クビアカツヤカミキリ
2.5～4cm



●成虫を見つけた場合は

- ・自宅や公園などで成虫を見つけた場合は、踏みつぶすなど駆除してください。

クビアカハンターの登録はこちら ⇒

※飼育や生きたまま移動させることは、法律で禁止されています！！



【連絡先】 堺市環境局環境保全部環境共生課
電話：072-228-7440
メール：kankyo@sakai.lg.jp

クビアカツヤカミキリ むしってどんな虫？

クビアカツヤカミキリは、ようちゅう幼虫がサクラやウメ、モモ、スモモ、カキなどの樹木の中に入り込み、
木の内部を食いあらしてしまう外来昆虫です。がいらいこんちゅう幼虫に食われてしまった木は弱っていき、
やがて枯れてしまいます。被害をこれ以上ひろげないために、見つけたらすぐに駆除することが重要です。

特定外来生物って？ 法律で飼養（飼育）・保管、輸入、販売、譲り渡し、野外へ放つことが禁止されています！！

Check! 見つけたらどうすればいい？

成虫は「踏みつぶす」「殺虫剤をかける」「アルコール消毒液や
ハンドソープを入れたビンに入れる」等で駆除してください。



とくていがいらいせいぶつ 特定外来生物 クビアカツヤカミキリ

成虫の特徴

光沢のある黒色のからだで、
クビ（胸部）の部分が赤い
じゃ香臭を放つ

からだの長さ

2.5～4cm（触角をのぞく）

見つかる時期

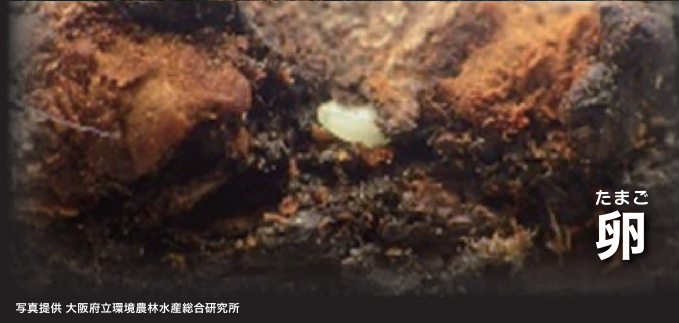
6月中旬～8月初め頃

見つかる場所

サクラ、ウメ、モモ、スモモ
カキの木その他、樹液の出
ている木でも見つかる



幼虫



卵

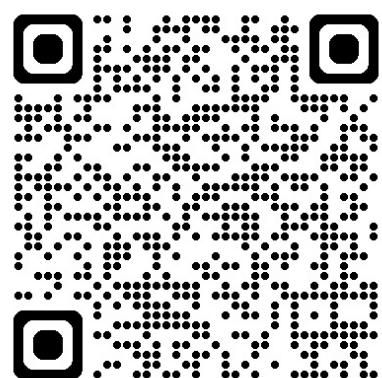
樹皮に産みつけられた卵は10日程
でふ化し、木の中に入り込みます。
幼虫は木の内部で2～3年かけて
成長し、さなぎになります。

幼虫がいる木からは
うどん状のフラスと呼ばれる
虫フンと木くずが混ざったものが
出てきます。



防風ネットを巻くことで新たな
被害と拡散の防止ができます。

フラスが出てきている穴から
薬剤を注入し、中にある幼虫を
駆除します。



クビアカツヤカミキリの被害を防ぐには上の写真のように
ネットをまいたり、薬剤を注入する方法があるよ。くわしくは
左の二次元コードから対策の手引きを確認してね。

連絡先：堺市環境局環境保全部環境共生課（TEL：072-228-7440）

